

平成23年度(第24期)北里大学学術奨励資金助成

〔萌芽的研究〕 1件

	学 部	職 位	氏 名	研究課題名
1	医療衛生学部	助教	川上 文貴	NSAID起因性消化管粘膜傷害における消化管神経への影響の解明

〔一般研究〕 35件

	学 部	職 位	氏 名	研究課題名
1	薬学部	助教	森 麻美	正常時及び糖尿病時のアドレナリン β_2 受容体を介した網膜血管拡張機序の解明
2	薬学部	助教	小山 信裕	真菌由来calpinactamによる結核菌に特異的な生育阻害機構の解析
3	薬学部	講師	羽田 健	サルモネラ腸炎に関わるⅢ型エフェクターの機能解析
4	薬学部	助教	大多和正樹	寄生虫選択性向上を目指したcomplex II阻害剤atpenin A5の構造活性相関研究
5	薬学部	助教	片根 真澄	線虫 D -アミノ酸代謝酵素の生理機能の解明：神経伝達と生殖細胞形成における D -アミノ酸の役割
6	薬学部	研究員	福田 隆志	MRSA色素合成阻害物質citridone Aに関する研究
7	薬学部	助教	佐藤 龍洋	長寿シグナル伝達因子AMPK-mTORの制御機構の解析
8	薬学部	講師	白畑 辰哉	抗歯周病菌薬創製を目指した γ -ionylidene誘導体の収束的な不斉合成研究
9	薬学部	助教	山本 大介	インテリジェンス分子の創製を指向したアミノ酸の包括的合成法の開発
10	獣医学部	講師	堀 泰智	心臓線維芽細胞における交感神経受容体を介したアルドステロン調節機序の解明
11	獣医学部	准教授	黒瀬奈緒子	温帯域高山地帯における孤立個体群の遺伝子構造と多様性解析および個体群保護管理を目指した統合的研究
12	海洋生命科学部	講師	水澤 寛太	魚類におけるストレス、摂食、生殖制御系の共調メカニズム
13	海洋生命科学部	講師	筒井 繁行	魚類皮膚粘液レクチン網羅的構造解析～多様性と分子進化～
14	海洋生命科学部	講師	天野 春菜	魚類の多型ビデロジェニン誘導に及ぼすインスリン様成長因子の効果
15	理学部	助教	堀 颯子	共結晶ナノワイヤーの表面観察とデバイス化
16	理学部	助教	井上 浄	免疫ヒト化マウスとリンパ組織移植技術の融合による完全ヒト化抗体作製技術の開発
17	理学部	助教	斉藤 康二	細胞運動に関わるRac1の不活化因子FilGAPの癌の浸潤、転移における役割
18	理学部	助教	中澤 友紀	細胞極性形成におけるFilGAPのリン酸化による活性制御機構の解析
19	理学部	助教	吉田 純	ネマチック液晶に対して高いらせん誘起能を持つ金属錯体型キラルドーパントの開発
20	理学部	助教	黒田 圭司	光ファイバー増幅器中の動的回折格子を用いた光メモリの研究
21	理学部	助教	田村 啓	無尾両生類アフリカツメガエルの変態過程における細胞選択的生死シグナル伝達機構の解析

	学 部	職 位	氏 名	研究課題名
22	医療衛生学部	助教	川守田拓志	Hole ICLにおける房水の流体力学シミュレーション
23	医療衛生学部	講師	酒井 利奈	術中骨折の予防を目的とした人工股関節ステム打釘時に発生する大腿骨内部の応用とハンマリング音との関連
24	医療衛生学部	助教	原 秀剛	Dual-energy CTによる脳卒中コンピュータ支援画像診断システム
25	医療衛生学部	助教	太田 悦朗	遺伝性パーキンソン病原因分子LRRK2のドミナントネガティブによる細胞死機構の解明
26	医療衛生学部	助教	佐藤 隆司	特発性血小板減少性紫斑病患者におけるFcγ受容体の一塩基多型解析
27	医療衛生学部	助教	佐藤 英介	陽子線とX線の腫瘍細胞に対する細胞浸潤抑制効果の違いに関する基礎的検討
28	一般教育部	講師	吉田 朱美	ラファエル前派の詩と絵画における果物と女性の表象
29	生命科学研究所	准教授	廣瀬 友靖	テトラセン骨格構築及び不斉軸誘起法開発と細菌の薬剤耐性解除作用を示す天然物の合成
30	生命科学研究所	上級研究員	岩月 正人	天然物資源からのマラリア原虫酵素を標的とした抗マラリア剤の探索
31	生命科学研究所	助教	森 美穂子	微生物二次代謝産物からの赤痢アメーバ原虫特異的システイン合成酵素阻害活性化合物の探索研究
32	生命科学研究所	助教	菅原 章公	酵素結束シスデカリン-マクロライド融合天然物の合成と抗菌活性のスイッチング
33	生命科学研究所	研究員	筒井 歩	非ベンゼン系芳香環トロンボリン骨格の新規構築法の開発と抗マラリア薬創製への応用
34	東洋医学研究所	上級研究員	伊藤 直樹	漢方方剤「香蘇散」のオレキシン神経系に対する制御機構
35	東洋医学研究所	上級研究員	遠藤 真理	漢方薬によるマウス大腸菌の治療効果を評価できる ¹³ C酪酸注腸呼吸試験の確立

※萌芽的研究、一般研究いずれも表記しており、番号は順位を示すものではありません。